

大阪府電磁波利用技術研究会 技術講演会 『人工材料を用いる電波吸収体、電磁遮へい材、 反射・透過制御材の設計』

【主催：大阪府電磁波利用技術研究会】

ここでは、電磁波を制御できる新規の電気材料設計に興味を持たれている方々を対象に、この技術について第一線で研究されている先生から解説していただきます。

開催場所：たかつガーデン 3階 ローズ（大阪市天王寺区東高津町7番11号）

開催日時：平成26年5月29日（木）午後2時30分～午後4時30分（午後2時開場）

参加費：2,000円（但し、大阪府電磁波利用技術研究会 会員は無料）

定員：50名

申し込み：5月23日（金）までに、FAX または E-mail で研究会までお申込みください。

定員になり次第、受付を終了致します。

講演内容

【講師】

兵庫県立大学 大学院工学研究科 電気系工学専攻

教授 畠山 賢一 氏

【概要】

電波吸収体、電磁遮へい材は開発の歴史が長く、既に種々の設計法、特性が知られており、各種電磁障害用として実用になっている。近年、金属体周期配列構造はこれを均一媒質としてマクロに見たとき、誘電率や透磁率があたかも負の媒質に相当する特性を示すことが注目され、このような構造体を人工材料と呼んで電磁波部品への応用が盛んに検討されている。ここでは、まず電波吸収体や遮へい材設計の基礎を述べ、次に人工材料の説明、および従来の電波吸収体や遮へい材設計に人工材料の特性を取り入れた設計法を述べ、これまでにない吸収・遮へい特性が得られることを紹介する。

申込み・お問合せ先

大阪府電磁波利用技術研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1

（地独）大阪府立産業技術総合研究所内

電話 0725-51-2541（月・火・木 午前9時～午後5時）

FAX 0725-53-2332

E-mail denjiha@dantai.tri-osaka.jp

